

今月の題字
佐藤榛名 (はんな) さん

(みどり市大間々町)
町の歴史に興味を持ち、地域おこしのサポート役として皆から信頼されている期待の星。大間々駅のトイレ掃除にも参加して一緒に心を磨きました。

虹の架橋

今年も義援金付ポロシャツ
六月一日から予約受付開始
みどり市では、今年も義援金付ポロシャツの販売を開始します。2011年、東日本大震災の被災地に義援金を送るためにはじめた企画は今年で15回目。今年の義援金は能登半島の復興支援のために被災地に送られる予定です。
義援金ポロシャツの今年のデザインは、一月にみどり市内にオープンした本格的なスケートボードパークと三人制バスケットボールのコートを設置した「ストリートパーク」にちなんで、ボールを持ったみどモスがスケートボードに乗って空を飛んでいる図柄を刺繍で再現、左袖には「Enjoy Street」の刺繍が入っています。このデザインは、みどり市役所の新採用職員六名が発案、スケートボードのようにみどり市が更なる飛躍を目指し、将来ここからオリピック選手が誕生してほしいという願いも込められています。



- みどり市義援金付ポロシャツ**
- ・ポケ付ボタンダウンポロシャツ SS~5L
 - ・紺、ブラック、アーミーグリーン、ジャングル、オレンジの5色
 - ・右胸と左袖に刺繍入り
 - ・税込1,950円(義援金300円込)
 - 3L以上は200円高
 - ・色見本、サイズ見本は足利屋とさくらもーるアスクに用意してあります。0277-73-1212

今年、五月から六月の新緑から緑陰の季節になると、東町花輪出身の古美門佳一郎(こみかど けいいちろう)さんが描いた『燧(ひうち)坂』の絵を飾っています。古美門さんのお話によると、燧坂は、足尾銅山の銅を運ぶ銅(あかがね)街道のルートのひとつであり、下神梅から桐原に至る峠の名で日光坂とも呼ばれていたそうです。今でもこの峠には「南無阿弥陀仏」と彫られた岩が残っています。江戸時代、馬の背中に銅を乗せて峠を越えた人たちの苦勞が偲ばれます。この絵を見てみると、また木漏れ日が美しい緑陰の燧坂を歩いてみたくなります。

世界一小さな 足利屋 トイレ美術館

今月の絵手紙《358》

古美門佳一郎さん『燧坂』



毎年、五月から六月の新緑から緑陰の季節になると、東町花輪出身の古美門佳一郎(こみかど けいいちろう)さんが描いた『燧(ひうち)坂』の絵を飾っています。古美門さんのお話によると、燧坂は、足尾銅山の銅を運ぶ銅(あかがね)街道のルートのひとつであり、下神梅から桐原に至る峠の名で日光坂とも呼ばれていたそうです。今でもこの峠には「南無阿弥陀仏」と彫られた岩が残っています。江戸時代、馬の背中に銅を乗せて峠を越えた人たちの苦勞が偲ばれます。この絵を見てみると、また木漏れ日が美しい緑陰の燧坂を歩いてみたくなります。



小耳にはさんだ
いい話
(文責・菊) 《358》

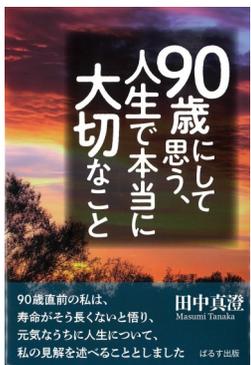
『人生で本当に大切なこと』

論から申し上げれば、『人生は、普段の生活において、どのような生活習慣を実践しているかで決まる』ということだと思います。と書かれています。

田中先生は著書の中で、「良き生活習慣の実践とは、早起き、歩行、しつけ三原則(挨拶・返事・後始末)をマメに続け、笑顔で即時対応などの当たり前のことを続けていけば健康が増進し、人間関係も驚くほどよくなります。そして、良き人間関係を形成するうえで欠かせないのが『3マメ』(口マメ・手マメ・足マメ)です。口マメはがき・メールでの連絡、足

を使った訪問連絡のことです。私の場合は主に手紙やハガキなど手マメを用いてのコミュニケーションを大切にしています。と書いています。

田中先生の講演を初めて聴いたのは今から29年前のことでした。あの時の魂を揺さぶられる熱誠講演を聴いてすぐに手紙を書き、田中先生から返事をいただきました。その時のハガキは私の宝物になっています。『先般の講演では最前席で熱心に聴いていただ



き嬉しく存じます。ところで「虹の架橋」を早速拝読しました。大間々のことがよく理解でき、とても参考になりました。将来は大間々における貴重な情報源になるのではないかと存じます」と書かれていて励まされ、継続を誓いました。虹の架橋が間もなく30年を迎えられるのも田中先生のハガキのお陰です。

靖ちゃん日記

令和七年五月十七日(土)
富弘美術館を囲む会支部長スタッフ会議が桐生グランドホテルで開かれた。会議の前、去年大賞に選ばれた富弘さんに黙祷を捧げた。富弘さんの作品や優しい笑顔が蘇ってきた。奥様の昌子さんの挨拶も心に響いた。今年も九十名近い人たちが全国から集った。仙台、新潟、栃木、千葉、愛知、三重、徳島、宮崎の支部長仲間と嬉しい再会、富弘さんを通じてのご縁に感謝！ロサンゼルス支部からは今年も四人が参加。S支部長のらどジャーヌTシャツを着た。先週全国放送されたNHKの古民家カフェ巡り「ハルさんの休日」にテマツと出演したのを全国の支部長仲間が観ていて、その時の話で盛り上った。撮影の時、本番前に美人のメイクさんに椅子に座らせられた。化粧もするののと思ったら、カバンから小さなハガキを取り出して、鼻をさっくられた。本番より緊張した。鼻毛より鼻の下が伸びていた。



緑陰や掃除仲間の腕まくり
毎週金曜日朝六時からの大間々駅トイレ掃除には、二十年以上のレギュラーメンバーに準レギュラーの若手メンバーが加わり、平均年齢がグンと下がってきました。新緑から緑陰へ、木々の葉の色が一週ごとに濃くなっていくように若手メンバーも自信をもって自分の役割分担を楽しんでいます。大間々駅の掃除がきっかけで桐生でトイレ掃除をはじめた仲間が六月四日に十周年を迎えるということを知り、新桐生駅での記念の掃除に参加することにしました。掃除は二十年を超えています。

虹の架橋検索で、インターネットからでもご覧いただけます。

第三百五十九号は令和七年七月一日(火)発行予定です。

靖ちゃんの似顔絵提供：ひさかさん